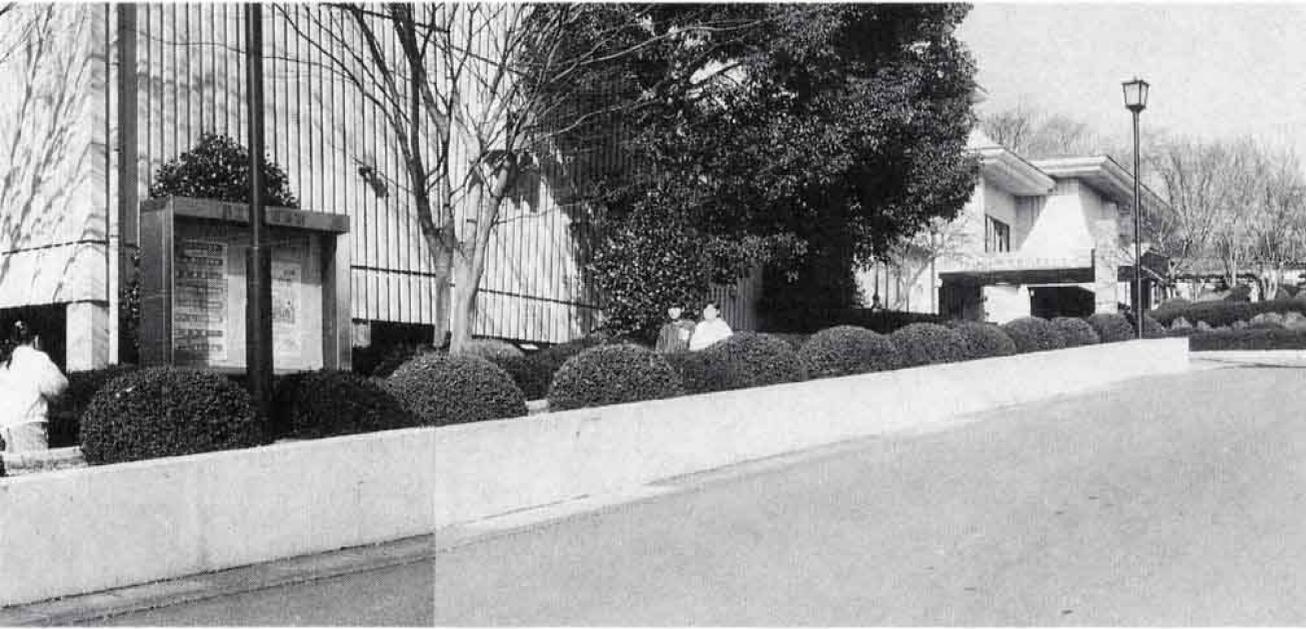


博物館からレポート

まだ一度も見学したことがない人が五〇%も

博物館アンケート調査から



レポーター
ほうらいよしこ
蓬菜好子さん
(伝法・主婦)

開館十周年を迎えた市立博物館は、昨年市民三千人を対象にアンケート調査を行いました。調査は、博物館の利用状況、希望などをお聞きし、「市民に親しまれる博物館づくり」の参考にするためのものです。千二百人の回答をいただいた結果、一度も見学したことのない人が半数もあることがわかりました。アンケート結果、博物館の対応などについて、伝法の蓬菜好子さんにレポートしてもらいました。

まず広見公園でインタビュー

蓬菜 博物館でお話を聞く前に、広見公園に来ている人にインタビューしてみました。

初めは、中野にお住まいの滝戸さん御夫妻のお話です。「博物館を見学したことはありません。子供が大きくなったらと思っっています。私は、公園にはよく来ますが、主人は初めてです。歴史民俗資料館はよく見えています。四月に全戸



△滝戸雅人・美智代御夫妻と彩花ちゃん(中野)



△村松泰明さん(今泉)

配布したという年間行事案内は、記憶にないですね」

次は、今泉の村松さんのお話です。「今日初めて、家族と一緒に博物館を見学しました。子供が三歳なのですぐ飽きてしまい、十五分ほどで出てしまいました。これからも、公園とセットで利用したいですね」

アンケートの調査結果を裏づけるように、二人に一人は見学したことがないとのことでした。

それはいよいよ、博物館でお話を伺います。

PRに

力を入れます

蓬菜 初めまして、蓬菜と申します。博物館のアンケート調査結果を見せていただきましたが、「知らないから・わからないから見学してない」という人が多いことがわかりました。そこできょうは、博物館のPRを兼ねてお話を聞きしたいと思いますので、よろしくお願いします。

伊東 館長の伊東です。よろしくお願ひします。



△熱心にお話をしてくれた伊東雄太郎館長(右)

蓬萊 開館十周年とのことですが、五〇%の人がまだ一度も見学したことがないんですね。

伊東 これまでに二十八万人の入館者がありました。残念ながらそのとおりです。理由としては、「博物館があることや場所、内容を知らない」「交通が不便」「忙しい」などが主ですね。

蓬萊 「忙しい」以外は対策がありそうですね。

伊東 はい。まずPRに力を入れる必要がありますね。これまでも「年間行事案内」を全戸配布し、展示会のたびに「広報ふじ」でお知らせしてきましたが、さらに

徹底したPRをしたいと思っています。**蓬萊** 実は、私も独身のころは関心が薄かったんです。アンケート結果でも、二十代の見学者が少ないようですが。

伊東 二十代の七三%は一度も見学してません。そこで、若い人の集まるコンサートなどでパンフレットを配るなど、積極的な対応も考えたいと思います。

また、年間行事案内やパンフレットも、位置図やバスの案内を入れてつくり直したいですね。とって置きたくなるようなのを。

蓬萊 パンフレットを新富士駅で配れば、県外の人も来てくれるかもしれませんね。

伊東 もちろん、駅や銀行にも置きたいと思っています。

バスの便を

よくしたい

蓬萊 交通の便が悪いという意見が多いですね。

伊東 はいそのためか、ここから遠い田子浦、富士南、浮島、天間地区の見学者が少ないんです。

蓬萊 一番近いバス停はどこですか。

伊東 東に三百ほど行った「広見団地入口」で、徒歩五分です。

吉原中央駅からバスが出てますが、富士駅や吉原駅などからの直通バスがないんですね。「静岡の方が早く行ける」という意見もありました。

蓬萊 お年寄りや主婦、子供たちのためにも、バスの便をよくしたいですね。

伊東 博物館の前にバス停もほしいし、バス会社と交渉してみます。

十代は

八〇%以上が見学

蓬萊 年齢別で見学者が多いのは、十代の八〇%ですね。

伊東 十代が多いのは、小学校の社会科の授業で見学に来るからです。昭和五十六年以来、毎年二千人から四千人が見学し、合計三万八千人にもなります。

蓬萊 調査対象者は、十一歳から八十九歳までですから、七十年後にアンケートをとれば、ほぼ一〇〇%見学したという結果になりそうですね。(笑)

展示会も

工夫を凝らして

蓬萊 見学するきっかけで多いのは、「広報ふじを見て」と「人から聞いたり誘われて」で、それぞれ二〇%代ですね。

伊東 聞いたり誘われて、というのはうれしいですね。親しみやすく、興味のある展示会や展示物があったので、誘ったり話をしたということだと思います。

蓬萊 私も見ましたが、「富士山写真展」は人気がありますね。

伊東 それに、紙や考古の関係も人気もありますし、美術展を望む声も多いんです。

蓬萊 富士市出身の日本画家「井上恒也展」がありましたね。

伊東 ことしも「郷土の作家展」の中で考えたいと思っています。

さて「展示内容がわからない」という声も多いので、職員に御案内させましょう。

蓬萊 よろしくお願いします。



△小学6年生が友達と一緒に



△後ろに眺峰館と杉浦医院



△志村 博 学芸員

展示会は 年に八回

志村 こんにちは、学芸員の志村です。二階の展示室を御案内します。

蓬菜 よろしくお願ひします。ところで、学芸員はどんな仕事をするんですか。志村 調査・研究・展示が主な仕事です。

ここが企画展などの展示会用の部屋で、今「曾我物語」をやっています。

蓬菜 あなたの担当ですか。志村 いいえ、私は考古担当ですから。三人の学芸員で、考古、歴史、美術、民俗を分けて担当しています。蓬菜 展示会は、いつもや



△曾我物語は3月17日まで

っているんですか。志村 展示会は毎年八回ぐらいで、一回二週間から六週間です。間に準備期間が入りますから、そのときは常設展だけになります。

紙の展示を より系統立てて

志村 こちらが紙の常設展示場です。今は和紙と洋紙が一緒になっていますが、洋紙に絞って、より



△昔は小さな機械で(抄紙機・2分の1模型)

系統立てた展示にしたいと思っています。

蓬菜 常設展の展示替えも、時々するのですか。

志村 五年をめどに展示替えを考えています。最近ディアナ号の模型が入り好評を得ています。蓬菜 少しずつでも替わるといいですね。

志村 はい。頑張ります。

古代から明治まで

志村 次は、古代から明治までの富士市の移り変わりを中心に展示してある、一番大きな部屋です。



△名物は、白酒、ねぎぞうすい、ずいき

蓬菜 富士市には、たくさんさんの遺跡や古墳があると聞いてますが、展示してあるのは、そこで見つかったものなんでしょうか。



△縄文時代の生活を再現したジオラマ

志村 ほとんどのものはそうですが、本物そっくりにつくったものもあります。

(説明を受け一周後)

蓬菜 吉原宿の茶店の人形は本物みたいでした。志村 実はね、人間の顔の型をとってつくってあるんです。

蓬菜 ボタンを押すとテープで解説が流れるのもあったし、解説を読むとかなり時間がかかりますね。

志村 五本のビデオが見られる部屋もありますので、時間をかけて見学してもらいたいと思います。蓬菜 見学者も、説明してもら

復原家屋など全体が 歴史民俗資料館

とわかりやすいですよ。志村 できるだけ御案内したいと思っていますので、受付でお尋ねください。

次は荻野学芸員に、外の歴史民俗資料館を案内させます。

荻野 こんにちは、荻野です。蓬菜 よろしくお願ひします。あなたのご担当はなんですか。

荻野 はい。民俗を担当しています。来年「はかる」をテーマに展示会を企画するんですよ。蓬菜 物差しとか、はかりですか。荻野 そうです。人間の知恵という観点から考えたいと思います。蓬菜 見に来たいですね。



△樋代官長屋門



荻野 どうぞいらしてください。



△荻野裕子 学芸員

それでは御案内します。

蓬萊 歴史民俗資料館という、建物はいいですよ。

荻野 はい。眺峰館、杉浦医院、古墳など、失われつつある貴重な文化財を移築してそう呼んでいます。

蓬萊 ここは、広見公園の中ですよ。

荻野 博物館も含めて、みんな公園の中です。桜の時期は、すごくきれいですよ。

とよだいかん 樋代官屋敷も

仲間入り

蓬萊 奥の方で工事をしていますが、何をつくっているのですか。

荻野 厚原で樋代官を勤めた植松家の住宅と、伊藤博文の養子が興津に建てた独楽荘の石倉です。四月になったら見に来てください。

蓬萊 そうしたいですね。
荻野 アンケート調査では、この資料館を知らない人が、五〇%もありました。無料ですから、公園に来たついで

に寄ってくれるといいんですけど。
蓬萊 中に入れるのもあって、楽しいですよ。

自分でやってみたい 人のために

自分

荻野 工芸室では陶芸、富士の型染、手漉和紙教室が開かれます。

蓬萊 昼間だけなんですか。

荻野 陶芸だけは昼と夜がありますが、あとは昼間だけです。

それと、体験学習をふやして、という声もありますので、子供を対象に「米づくり」も予定しています。田植えから食べるまでなんですけど。

蓬萊 自分でつくって、自分で食べる。楽しいでしょうね。まだほかにありますか。

荻野 紙人形などをつくる「紙の工芸教室」、「古墳めぐり」なども考えています。それに「考古学講

座」も開かれます。広報紙で募集のお知らせをしますので、申し込んでいただきたいですね。



△陶芸教室終了者が集まって

博物館は、アンケート調査の結果を参考に、より親しまれる施設を目指して動き始めています。私も今回のレポートを通じ、「身近な博物館」という感じを強く持ちました。

これで私のレポートを終わります。



△竪穴住居の中

利用案内

◆博物館

○開館時間 九〜十七時

※十一月〜三月は十六時半まで

○休館日 月曜日と祝日の翌日

○入館料 大人百円、子供五〇円

◆歴史民俗資料館

○入館無料

◆交通(バス)

JR富士駅・吉原駅・新幹線

新富士駅から吉原中央駅行

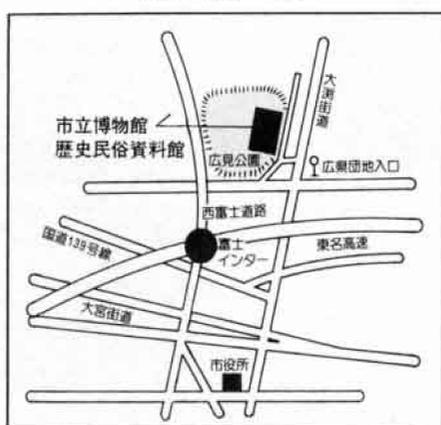
吉原中央駅から三番線(大淵

団地行、茶の木平行等)で広

見団地入口下車、徒歩五分

◆問い合わせ ☎二一三三八〇

案内図



市民文化財めぐり

とき 三月二十五日(月)

予備日 二十七日(水)

対象者 市内在住・在勤の人

募集人員 百人(申し込み順)

参加料 大人千円、小供五百円

持ち物 昼食、水筒、雨具など

申し込み、問い合わせ

三月十三日(水)から十五日(金)ま

でに参加料を添えて、文化体

育課へ 内線二七二二